

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 環境市民厚生分科会	会議場所	全員協議会室
		担当職員	小野
日 時	令和3年9月13日(月曜日)	開 議	午後 1 時 30 分
		閉 議	午後 2 時 17 分
出席委員	◎平本 ○三宅 長澤 大塚 並河 竹田 西口		
事務局	山内事務局長、小野主任		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員1名(富谷)

会 議 の 概 要

1 開会

2 事務事業評価対象事業の論点整理

<平本委員長>

事務事業評価は、事業の目的や手法、成果、コスト、方向性を視点として評価を行う。実際の評価では、1事業45分の中で、説明約10分・質疑約10分、その後、委員間での議論を経て評価結果を出すということから、時間上の制約もあるため、議論の焦点とすべきことを事前に委員間で整理しておく必要がある。当日、その論点に沿った質疑を行い、適切な評価ができるよう、本日は論点整理を行う。

(1) 環境保全対策経費

<平本委員長>

事務局から資料の説明を。

<事務局主任>

(資料説明)

<並河委員>

亀岡市ポイ捨て等禁止条例の施行後における、ポイ捨て防止重点地域内のごみの状況や条例の成果を評価したい。

<平本委員長>

重点地域以外における、ごみのポイ捨てや不法投棄の状況、また、それを踏まえた対策を確認したい。

<大塚委員>

会計年度任用職員である警察OBの実績や、不法投棄対策委託料との整合が図れているのか議論したい。

<三宅副委員長>

ごみのポイ捨てや不法投棄の分布、それを踏まえた対策をどのように行っているのか確認したい。

<西口委員>

監視員の指導や過料は抑止力につながっているのか、どのような成果があるのか、議論したい。

<平本委員長>

亀岡市ポイ捨て等禁止条例施行後の状況の変化と成果を論点とする。

(2) 生活保護運営対策経費

<平本委員長>

事務局から資料の説明を。

<事務局主任>

(資料説明)

<長澤委員>

コロナ禍で、生活保護が本来の役割を果たしているか議論したい。また、令和2年度中に新たに生活保護を受けられた方がいると思うが、相談したにもかかわらず申請に至らなかった案件について、その理由などについて聞きたい。

<平本委員長>

相談や申請など、必要な方に支援が行き届いているのか確認したい。

<竹田委員>

この経費がケースワーカーの効率化や法内法外扶助費にどのようにつながったのか、また、生活困窮者自立支援事業など、ほかの事業へどのように波及したのかということを確認すればよいと思う。

<長澤委員>

相談件数のうち、保護に至らなかったものを類型別に整理し、説明を求めたい。

<事務局主任>

生活保護運営対策経費は、実際に事業を運営する経費であり、国費などを財源とする扶助費とは内容が異なるため、論点を整理してはどうか。

<竹田委員>

事業にあたる経費であるため、生活保護を受けられている方の生活状況や健康状態を把握することで生活保護全体が見えてくるのではないか。

<長澤委員>

扶助費そのものではなく、どのように運営しているのかということ論点としたい。

<平本委員長>

生活保護制度と他の支援を、どのように結び付けているかを論点とする。

(3) 子ども・子育て支援経費

(子どもの貧困実態調査・計画策定業務委託料)

<平本委員長>

事務局から資料の説明を。

<事務局主任>

(資料説明)

<竹田委員>

2番目の選定理由はそのまま論点とすればよいと思う。

<長澤委員>

子どもの貧困実態調査の結果を見たが、内容が大変難しい。調査の方法やこの結果をどのように理解し、どのように貧困対策につなげていくのか確認したい。

<平本委員長>

子どもの貧困実態調査の結果を分析しているか、また、その結果を受けて、どのように子育て支援に取り組んだのかを論点とする。

3 その他

散会 ～14:17